

2012年9月5日

株式会社自分楽でのインターンシップを受けて



電気通信大学大学院 木村圭佑

『常に仕事と仕事を結びつけること』

耳にたこができるくらいこの言葉を聞いた私はインターンシップ最終日の今日、これまで約一ヶ月間行った業務（行動編）と崎山社長から教わった言葉（思考編）をすべて書き出し、樹形図にしてグループ分けを試みた。すると、すべての行った「業務（行動編）」は「会社を大きくする。そのためにお客様にできることをする」という一つのカテゴリーに統合することができた。また、「言葉（思考編）」は「現在、身に付けておくべきこと」と「将来的に身に付けたいこと」の二つのカテゴリーに統合できたという結果となった。

この樹形図を作成し、仕事と仕事を結びつけることによって、「社外セミナーの企画・運営補助業」というインターンシップのテーマから始まった私の仕事は、「常に会社とお客様のために」行っていたのだと再認識できた。

今回は、FaceBook ページの作成補助を担当させていただいた。「会社を大きく育てるためには、たくさんの人に弊社を知ってもらうことが必要であり、そのために自分が何をしなければいけないのか、ということを考えること」「仕事が如何に難しいか」ということを学べたインターンシップであった。難しいからこそ、そこにやりがい生まれ、責任感が生まれ、自分自身を成長させることできるのだと思った。

電気通信大学 田中詩織

専門とは異なる分野の仕事を経験して視野を広げたいと思い、自分楽さんのインターンシップを受けさせていただきました。結論からいえば、私のこの目標は達成できたといえると思います。実際にお客様に渡す資料を作ったり、おつかいに行ったりと、シミュレーションではなく会社のための仕事に携わることができました。私の中で特に変わったのは、自分に与えられた仕事の意味や求められていることを考えるようになったところではないかと思います。仕事の内容はもちろん、崎山社長は親切で褒め上手な方なので、短い間でしたが楽しんで過ごすことができました。